

# 施 策 評 価 表

令和6年度分

施策コード	6・1・1	評価担当課	農林課	総合戦略	行政経営	過疎
施策名	農業の生産振興					
目標	農林業の振興(基盤整備や経営指導など)に満足している町民の割合					
現状と課題	<p>本町の農業は、稻作と畜産が生産額の大半を占めていますが、近年では新たな柱の一つとして園芸作物(ブロッコリーや小菊など)の振興にも力を入れています。また、本町は平坦地から中山間地域までを有していることから、地域の特性を活かした農業の展開が求められています。</p> <p>農業を取り巻く情勢は厳しさを増していますが、本町においても例外ではなく、農家数減少、農業従事者の高齢化、後継者不足、耕作放棄地の増加など問題は深刻化しています。本町においては、農業生産基盤の整備や生産技術の向上、将来的な農業の担い手対策など、これらの課題に対応するための取組みを行っています。</p> <p>畜産については、農家数は減少してあります。酪農は、中核的農家の規模拡大が進んでいる一方で、繁殖と牛は小規模農家が多く、飼養頭数は減少傾向となっています。</p> <p>園芸については、消費者との交流を深めながら、顧の見える農業や地産地消に取り組んでいます。また、高齢者や女性グループを中心に農産物の加工や直売所などの販売も広がりを見せています。本町ならではの特産品開発や新規事業化に期待が寄せられています。</p> <p>森林は、本町の行政区域面積の約3割を占め、木材生産のほか水源涵養等の多面的機能を有しており重要な役割を担っています。そのため、町の森林整備計画に基づき、貴重な財産である自然環境の保全や水資源の涵養などのため森林の整備に努めるとともに、都市住民との交流の場、環境学習の場として活用していくなど、総合的な地域林業の振興が求められます。</p>	施策の内容	水稻や園芸作物など地域の特性を活かした農産物の生産拡大、产地化、生産性の向上を進めることで、農業者の所得向上と経営安定が図られるような農業振興、いわゆる「儲ける農業」を推進します。			

## 目標指標

指標名	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)							計画目標値(令和6年度)	
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	上段:達成率(R6実績/R6目標)	令和6年度	達成率(R6実績/R6目標)	
園芸特産作物出荷額(JA出荷額)	千円	195,000	300,000	300,000	300,000	300,000	-	0.57	500,000	0.34	
			152,811	153,608	159,177	170,850	△	-			
まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPI	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)							計画目標値(令和6年度)	
園芸特産作物出荷額(JA出荷額)	千円	195,000	300,000	300,000	300,000	300,000	-	0.57	500,000	0.34	
			152,811	153,608	159,177	170,850	△	-			

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

構成事務事業の事業費の合計	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度(計画)
	149,701	72,058	63,524	62,235	63,350	71,524

## 取組の総括

1年間の主な取組と成果	「略」	
施策の進行管理(構成事務事業の評価結果をもとにした施策の進捗状況の判定)		[ ] おおむね順調 [ ] いっそうの推進が必要 [ ] 扱本的に見直しや改善が必要
今後の取組	「略」	

## 構成事務事業の評価結果

事務事業数	29	事業
成果 A	14事業	(48.3%)
B	6事業	(20.7%)
C	7事業	(24.1%)
未実施	事業	(0.0%)
コスト A	11事業	(37.9%)
B	15事業	(51.7%)
C	事業	(0.0%)
未実施	事業	(0.0%)
進捗率 A	14事業	(48.3%)
B	6事業	(20.7%)
C	7事業	(24.1%)
未実施	事業	(0.0%)

平均点は「A」2点、「B」1点、「C」0点として算出

次年度以降の方針(主担当課)	拡充	【説明欄】 令和7年3月に策定した「丸森町農業振興ビジョン(第二次)」に基づき各種事業を展開し、農業振興を推進する。
委員会評価	見直しのうえ継続	【委員会意見欄】 事業の見直しを予定しているため。

# 施 策 評 価 表

令和6年度分

施策コード	6・1・2	評価担当課	農林課	総合戦略	行政経営	過疎
施策名	安全・安心な農産物の提供			-	-	
目標	農林業の振興(基盤整備や経営指導など)に満足している町民の割合				施策の内容	
現状と課題	<p>本町の農業は、稻作と畜産が生産額の大半を占めていますが、近年では新たな柱の一つとして園芸作物(ブロッコリーや小菊など)の振興にも力を入れています。また、本町は平野地から中山間地域までを有していることから、地域の特性を活かした農業の展開が求められています。</p> <p>農業を取り巻く情勢は厳しさを増していますが、本町においても例外ではなく、農家数減少、農業従事者の高齢化、後継者不足、耕作放棄地の増加など問題は深刻化しています。本町においては、農業生産基盤の整備や生産技術の向上、将来的な農業の扭い手対策など、これらの課題に対応するため取組みを行っています。</p> <p>畜産については、農家数は減少しておりますが、酪農は、中核的農家の規模拡大が進んでいる一方で、繁殖牛は小規模農家が多く、飼養頭数は減少傾向にあります。畜産の方向への高まりの中、引き続き環境保全型農業を進めいくとともに、消費者との交流を深めながら、頭の見える農業や地産地消に取り組んでいかなければなりません。また、高齢者や女性グループを中心に農産物の加工や直売所などの販売も広がりを見せており、本町ならではの特産品開発や二次加工化に期待が寄せられています。</p> <p>森林は、本町の行政区画面積の7割を占め、木材生産のほか水源涵養等の多面的機能を有しており重要な役割を担っています。そのため、町の森林整備計画に働き、貴重な財産である自然環境の保全や水資源の涵養などをため森林の整備に努めるほか、都市住民との交流の場、環境学習の場として活用していくなど、総合的な地域林業の振興が求められます。</p>				豊かな自然環境を守るとともに、農産物の付加価値を高め安定した価格での販売を促すため、環境保全型農業や生産者の顔が見える農業を推進し、安全・安心な農産物の提供を進めます。	

## 目標指標

指標名	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(令和6年度)		
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	上段:達成率(R6実績/R6目標)	令和6年度	達成率(R6実績/R6目標)	
農産物認証制度取組面積	ha	10.6	14.0	14.0	14.0	14.0	-	0.60	15.0	0.56	
		10.2	10.7	8.4	8.4			-			
農産物直売所の売上高	千円	166,821	200,000	200,000	200,000	200,000	-	1.01	200,000	1.01	
		185,548	180,684	194,709	201,803			-			
まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPI		基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(令和6年度)		
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	上段:達成率(R6実績/R6目標)	令和6年度	達成率(R6実績/R6目標)	
							-	#DIV/0!		#DIV/0!	
								-			
								#DIV/0!		#DIV/0!	
								-			

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

構成事務事業の事業費の合計	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度(計画)
	5,628	5,090	5,399	5,896	6,156	2,737

## 取組の総括

1年間の主な取組と成果	「略」	
施策の進行管理(構成事務事業の評価結果をもとにした施策の進捗状況の判定)		[ ] おおむね順調 [ ] いっそうの推進が必要 [ ] 扱本的に見直しや改善が必要
今後の取組	「略」	

## 構成事務事業の評価結果

事務事業数	3	事業	
成果 A	事業	(0.0%)	平均点
B	事業	(0.0%)	
C	3事業	(100.0%)	
未実施	事業	(0.0%)	2.0
コスト A	3事業	(100.0%)	
B	事業	(0.0%)	
C	事業	(0.0%)	
未実施	事業	(0.0%)	0.0
進捗率 A	事業	(0.0%)	
B	事業	(0.0%)	
C	3事業	(100.0%)	
未実施	事業	(0.0%)	平均点
平均点は「A」2点、「B」1点、「C」0点として算出	0.7		

次年度以降の方針(主担当課)	現状維持	[説明欄] 令和7年3月に策定した「丸森町農業振興ビジョン(第二次)」に基づき各種事業を展開し、「みどり認定」農業者の増加などに取り組み、安全・安心な生産地として情報発信するとともに、農産物の付加価値を図る。
委員会評価	現状維持	[委員会意見欄] 担当課意見のとおり。

# 施策評価表

令和6年度分

施策コード	6・1・3	評価担当課	農林課	総合戦略	行政経営	過疎
施策名	農業生産基盤の整備推進			-	-	
目標	農林業の振興(基盤整備や経営指導など)に満足している町民の割合				施策の内容	
現状と課題	<p>本町の農業は、稻作と畜産が生産額の大半を占めていますが、近年では新たな柱の一つとして園芸作物(ブロッコリーや小菊など)の振興にも力を入れています。また、本町は平野地から中山間地域までを有していることから、地域の特性を活かした農業の展開が求められています。</p> <p>農業を取り巻く情勢は厳しさを増していますが、本町においても例外ではなく、農家数減少、農業従事者の高齢化、後継者不足、耕作放棄地の増加など問題は深刻化しています。本町においては、農業生産基盤の整備や生産技術の向上、持続的な農業の扭り手对策など、これらの課題に対応するための取組みを行っています。</p> <p>食の安全・安心・透明への高まりの中、引き続き環境保全型農業を進めていくとともに、消費者との交流を深めながら、顧の見える農業や地産地消に取り組んでいなければなりません。また、高齢者や女性グループを中心に農産物の加工や直売所などで販売も広がりを見せており、本町ならではの特産品開発や6次産業化に期待が寄せられています。</p> <p>森林は、本町の行政区域面積の7割を占め、木材生産のほか水源涵養等の多面的機能を有しております重要な役割を担っています。そのため、町の森林整備計画に基づき、貴重な財産である自然環境の保全や水資源の涵養などをため森林の整備に努めるほか、都市住民との交流の場、環境学習の場として活用していくなど、総合的な地域林業の振興が求められます。</p>				<p>農業生産性の向上と効率的・安定的な農業経営を図るため、農地、農道及び用排水路等の農業生産基盤の整備を推進します。</p> <p>あわせて、農業経営の規模拡大と効率化を図るため、農地中間管理機構推進事業等を活用して担い手への農地の集積・集約化を推進します。</p>	

## 目標指標

指標名	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(令和6年度)	
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	上段:達成率(R6実績/R6目標)	令和6年度	達成率(R6実績/R6目標)
担い手への農地集積率	%	17.2	50.0	50.0	50.0	70.0	-	0.55	70.0	0.55
			34.8	34.9	38.1	38.6	△	-		
まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPI	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(令和6年度)	
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	上段:達成率(R6実績/R6目標)	令和6年度	達成率(R6実績/R6目標)
							-	#DIV/0!		#DIV/0!
							△	-		
							-	#DIV/0!		#DIV/0!
							△	-		

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

構成事務事業の事業費の合計	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度(計画)
	21,599	43,970	34,725	126,508	74,539	163,786

## 取組の総括

1年間の主な取組と成果	「略」		
施策の進行管理 (構成事務事業の評価結果をもとにした施策の進捗状況の判定)	<p>[ ]おおむね順調</p> <p>[ ]いっそうの推進が必要</p> <p>[ ]抜本的に見直しや改善が必要</p>		
今後の取組	「略」		

## 構成事務事業の評価結果

事務事業数	8	事業	
成果 A	3事業	(37.5%)	平均点
B	3事業	(37.5%)	
C	2事業	(25.0%)	
未実施	事業	(0.0%)	
コスト A	5事業	(62.5%)	平均点
B	1事業	(12.5%)	
C	2事業	(25.0%)	
未実施	事業	(0.0%)	
進歩率 A	3事業	(37.5%)	平均点
B	3事業	(37.5%)	
C	2事業	(25.0%)	
未実施	事業	(0.0%)	平均点
平均点は「A」2点、「B」1点、「C」0点として算出		1.2	

次年度以降の方針 (主担当課)	拡充	[説明欄]
		令和7年3月に策定した「丸森町農業振興ビジョン(第二次)」に基づき各種事業を展開するとともに、県と連携した基盤整備事業などに取り組み、農業基盤の整備及び農地の集積・集約化を推進する。
委員会評価	拡充	[委員会意見欄] 担当課意見のとおり。

# 施 策 評 価 表

令和6年度分

施策コード	6・1・4	評価担当課	農林課	総合戦略	行政経営	過疎
施策名	豊かな農村資源の保全と活用			-	-	-
目標	農林業の振興(基盤整備や経営指導など)に満足している町民の割合				施策の内容	
現状と課題	<p>本町の農業は、稻作と畜産が生産額の大半を占めていますが、近年では新たな柱の一つとして園芸作物(ブロッコリーや小菊など)の振興にも力を入れています。また、本町は平坦地から中山間地までを有していることから、地域の特性を活かした農業の展開が求められています。</p> <p>農業を取り巻く情勢は厳しくなっていますが、本町においても例外ではなく、農家数減少、農業従事者の高齢化、後継者不足、耕作放棄地の増加など問題は深刻化しています。本町においては、農業生産基盤の整備や生産技術の向上、将来的な農業の担い手対策など、これらの課題に対応するための取組みを行っています。</p> <p>一方で、農家数は減少してありますが、酪農は、中核的農家の規模拡大が進んでいる一方で、繁殖牛は小規模農家が多く、飼養頭数は減少傾向となっています。</p> <p>食の安全・安心志向への高まりの中、引き続き環境保全型農業を進めていくとともに、消費者との交流を深めながら、購入される農業や地産地消に取り組んでいきたいです。また、高齢者や女性グループを中心に農産物の加工や直売所などで販売も広がりを見せており、本町ならではの特産品開発や次世代農業化に期待が寄せられています。</p> <p>森林の行政区域面積の7割を占め、木材生産のほか水源涵養等の多面的機能を有しており重要な役割を担っています。そのため、町の森林整備計画に基づき、貴重な財産である自然環境の保全や水資源の涵養などをため森林の整備に努めるほか、都市住民との交流の場、環境学習の場として活用していくなど、総合的な地域林業の振興が求められます。</p>				平坦地から中山間地まで、地域の特性に応じた農業の振興と地域ぐるみでの農村資源の保全と活用を推進し、豊かな自然と美しい農村環境を後世に引き継ぎます。	

## 目標指標

指標名	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(令和6年度)	
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	上段:達成率(R6実績/R6目標)	令和6年度	達成率(R6実績/R6目標)
多面的機能支払交付金交付対象農用地面積	ha	278	1,233	1,233	1,233	1,233	-	1.12	1,233	1.12
			1,369	1,372	1,380	1,380	△	-		
耕作放棄抑制面積	ha	489	498	498	498	498	-	1.11	498	1.11
			550	551	551	554	△	-		
まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPI	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(令和6年度)	
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	上段:達成率(R6実績/R6目標)	令和6年度	達成率(R6実績/R6目標)
							△	#DIV/0!		#DIV/0!
							△	#DIV/0!		#DIV/0!
							△	#DIV/0!		#DIV/0!

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

構成事務事業の事業費の合計	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度(計画)
	132,321	135,394	138,205	138,351	141,511	144,294

## 取組の総括

1年間の主な取組と成果	「略」
施策の進行管理 (構成事務事業の評価結果をもとにした施策の進捗状況の判定)	[ ] おおむね順調 [ ] いっそうの推進が必要 [ ] 扱本的に見直しや改善が必要
今後の取組	「略」

## 構成事務事業の評価結果

事務事業数	3	事業	
成果 A	3事業	(100.0%)	平均点
B	事業	(0.0%)	
C	事業	(0.0%)	
未実施	事業	(0.0%)	2.0
コスト A	3事業	(100.0%)	
B	事業	(0.0%)	
C	事業	(0.0%)	
未実施	事業	(0.0%)	2.0
進捗率 A	2事業	(66.7%)	
B	1事業	(33.3%)	
C	事業	(0.0%)	
未実施	事業	(0.0%)	平均点
平均点は「A」2点、「B」1点、「C」0点として算出			1.9

次年度以降の方針 (主担当課)	拡充	【説明欄】  令和7年3月に策定した「丸森町農業振興ビジョン(第二次)」に基づき各種事業を展開し、多面的機能支払交付金制度などに取り組むとともに、面積の拡大及び加算措置などの新たな取り組みを実施する集落へ積極的に支援し、優良な農地保全と適正な農地利用を推進する。
委員会評価	現状維持	【委員会意見欄】  令和7年3月に策定した「丸森町農業振興ビジョン(第二次)」に基づき各種事業を推進するため。

# 施策評価表

令和6年度分

施策コード	6・1・5	評価担当課	農林課	総合戦略	行政経営	過疎
施策名	新たな活力を生む農業担い手の育成				-	○
目標	農林業の振興(基盤整備や経営指導など)に満足している町民の割合				施策の内容	
現状と課題	<p>本町の農業は、種作と畜産が生産額の大半を占めていますが、近年では新たな柱の一つとして園芸作物(ブロッコリーや小菊など)の振興にも力を入れています。また、本町は平地から中山間地域までを有していることから、地域の特性を活かした農業の展開が求められています。</p> <p>農業を続ける意欲(情熱)は厳しい状況であります。本町においても例外ではなく、農家数減少、農業従事者高齢化、後継者不足、耕作放棄地の増加など問題は深刻化しています。本町においては、農業生産基盤の整備や生産技術の向上、待望的な農業の担い手対策など、これらの課題に対応するため取り組みを行っています。</p> <p>畜産についても、農家数は減少しておりますが、酪農は、中核的農家の規模拡大が進んでいる一方で、繁殖母牛は小規模農家が多く、飼養頭数は減少傾向となっています。</p> <p>食の安全・安心志向への高まりの中、引き続き環境保全型農業を進めしていくとともに、消費者との交流を深めながら、顧の見える農業や地産地消に取り組んでいき必要があります。また、高齢者や女性グループを中心とした農作物の加工や販売所などの販売も広がりを見せており、本町ならではの特産品開発や次世代農業化に期待が寄せられています。</p> <p>森林は、本町の行政区地面積の7割を占め、木材生産のほか水源涵養等の多面的機能を有しております重要な役割を担っています。そのため、町の森林整備計画に基づき貴重な財産である自然環境の保全や水資源の涵養などをため森林の整備に努めるほか、都市住民との交流の場、環境学習の場として活用していくなど、総合的な地域農業の振興が求められます。</p>				認定農業者の規模拡大や経営安定の支援、新規就農者の育成確保、集落営農の組織化・法人化を進め、将来的に安定した地域農業の担い手を確保します。	

## 目標指標

指標名	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(令和6年度)	
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	上段:達成率(R6実績/R6目標)	令和6年度	達成率(R6実績/R6目標)
認定農業者数(所得額400万円以上)	経営体	19	30	30	30	30	-	0.60	30	0.60
			8	14	12	18	△	-		
認定新規就農者数(合計)	人	0	6	6	6	6	-	1.33	6	1.33
			6	6	8	8	△	-		
集落営農法人数	経営体	0	7	8	9	10	-	0.60	10	0.60
			4	5	6	6	△	-		
まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPI	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(令和6年度)	
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	上段:達成率(R6実績/R6目標)	令和6年度	達成率(R6実績/R6目標)
認定農業者数(所得額400万円以上)	経営体	19	30	30	30	30	-	0.60	30	0.60
			8	14	12	18	△	-		
集落営農法人数	経営体	0	7	8	9	10	-	0.60	10	0.60
			4	5	6	6	△	-		

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

構成事務事業の事業費の合計	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度(計画)
	28,056	42,010	25,279	32,560	28,688	55,412

## 取組の総括

1年間の主な取組と成果	「略」		
施策の進行管理(構成事務事業の評価結果をもとにした施策の進捗状況の判定)	<ul style="list-style-type: none"> <li>[ ] おおむね順調</li> <li>[ ] いっそうの推進が必要</li> <li>[ ] 抜本的に見直しや改善が必要</li> </ul>		

今後の取組	「略」		
-------	-----	--	--

## 構成事務事業の評価結果

事業事業数	16	事業	
成果 A	6事業	(37.5%)	
B	5事業	(31.3%)	平均点
C	4事業	(25.0%)	1.1
未実施	事業	(0.0%)	
コスト A	8事業	(50.0%)	
B	5事業	(31.3%)	平均点
C	事業	(0.0%)	1.6
未実施	事業	(0.0%)	
進捗率 A	7事業	(43.8%)	
B	7事業	(43.8%)	平均点
C	2事業	(12.5%)	1.3
未実施	事業	(0.0%)	平均点

平均点は「A」2点、「B」1点、「C」0点として算出

1.4

次年度以降の方針 (主担当課)	拡充	【説明欄】
		令和7年3月に策定した「丸森町農業振興ビジョン(第二次)」に基づき各種事業を展開し、これまで同様に担い手育成などに取り組むとともに、企業と連携し新たな経営体の確保にも取り組み、将来的に安定した地域農業の担い手を確保する。
委員会評価	現状維持	【委員会意見欄】
令和7年3月に策定した「丸森町農業振興ビジョン(第二次)」に基づき各種事業を推進するため。		

# 施 策 評 価 表

令和6年度分

施策コード	6・1・6	評価担当課	農林課	総合戦略	行政経営	過疎
施策名	畜産の振興			-	-	
目標	農林業の振興(基盤整備や経営指導など)に満足している町民の割合				施策の内容	
現状と課題	<p>本町の農業は、稻作と畜産が生産額の大半を占めていますが、近年では新たな柱の一つとして園芸作物(ブロッコリーや小菊など)の振興にも力を入れています。また、本町は平坦地から中山間地域までを有していることから、地域の特性を活かした農業の展開が求められています。</p> <p>農業を取り巻く情勢は厳しさを増していますが、本町においても例外ではなく、農家数減少、農業従事者の高齢化、後継者不足、耕作放棄地の増加など問題は深刻化しています。本町においては、農業生産基盤の整備や生産技術の向上、将来的な農業の担い手対策など、これらの課題に対応するための取組みを行っています。</p> <p>畜産面でも、農家数は減少しておりますが、酪農、中核的農家の規模拡大が進んでいる一方で、繁殖牛は小規模農家が多く、飼養頭数は減少傾向となっています。</p> <p>食の安全・安心・志向への高まりの中、引き続き環境保全型農業を進めていくとともに、消費者との交流を深めながら、購入される農業や地産地消に取り組んでいきたいです。また、高齢者や女性グループを中心に農産物の加工や直売所などの販売も広がりを見せており、本町ならではの特産品開発や6次農業化に期待が寄せられています。</p> <p>森林は、本町の行政区域面積の割を占め、木材生産のほか水源涵養等の多面的機能を有しており重要な役割を担っています。そのため、町の森林整備計画に基づき、貴重な財産である自然環境の保全や水資源の涵養などをため森林の整備に努めるとともに、都市住民との交流の場、環境学習の場として活用していくなど、総合的な地域林業の振興が求められます。</p>				畜産農家の生産基盤の強化と生産性の向上により、さらなる生産量の確保と資源循環型農業を推進し、畜産の振興を図ります。	

## 目標指標

指標名	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(令和6年度)	
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	上段:達成率(R6実績/R6目標)	令和6年度	達成率(R6実績/R6目標)
飼養頭数(乳用牛) 搾乳牛	頭	1,272	1,300	1,300	1,300	1,300	-	0.75	1,400	0.70
			1,102	1,089	1,007	975	△	-		
飼養頭数(肉用牛) 繁殖素牛	頭	355	370	370	370	370	-	0.73	400	0.68
			375	358	297	271	△	-		
まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPI	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(令和6年度)	
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	上段:達成率(R6実績/R6目標)	令和6年度	達成率(R6実績/R6目標)
							△	#DIV/0!		#DIV/0!
							△	-		#DIV/0!

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

構成事務事業の事業費の合計	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度(計画)
	11,712	15,346	9,142	12,001	10,932	15,372

## 取組の総括

1年間の主な取組と成果	「略」		
施策の進行管理(構成事務事業の評価結果をもとにした施策の進捗状況の判定)	<p>[ ] おおむね順調</p> <p>[ ] いっそうの推進が必要</p> <p>[ ] 扱本的に見直しや改善が必要</p>		
今後の取組	「略」		

## 構成事務事業の評価結果

事業	7	事業	平均点
成果 A	4事業	(57.1%)	1.4
B	2事業	(28.6%)	
C	1事業	(14.3%)	
未実施	事業	(0.0%)	1.7
コスト A	5事業	(71.4%)	
B	2事業	(28.6%)	
C	事業	(0.0%)	1.4
未実施	事業	(0.0%)	
進捗率 A	4事業	(57.1%)	
B	2事業	(28.6%)	
C	1事業	(14.3%)	
未実施	事業	(0.0%)	平均点

平均点は「A」2点、「B」1点、「C」0点として算出

1.5

次年度以降の方針(主担当課)	現状維持	[説明欄] 畜産農家の負担軽減と生産拡大を図るため、町営放牧場と子牛育成センターの安定した運営と、自給飼料の生産拡大によるコスト削減を図るために各事業を継続していく必要がある。
委員会評価	現状維持	[委員会意見欄] 担当課意見のとおり。

# 施 策 評 価 表

令和6年度分

施策コード	6・1・7	評価担当課	農林課	総合戦略	行政経営	過疎
施策名	森林資源の活用と多面的機能の充実			-	-	
目標	農林業の振興(基盤整備や経営指導など)に満足している町民の割合					
現状と課題	<p>本町の農業は、稲作と畜産が生産額の大半を占めていますが、近年では新たな柱の一つとして園芸作物(ブロッコリーや小菊など)の振興にも力を入れています。また、本町は平野地から中山間地域までを有していることから、地域の特性を活かした農業の展開が求められています。</p> <p>農業を取り巻く情勢は厳しくなっていますが、本町においても例外ではなく、農家数減少、農業従事者の高齢化、後継者不足、耕作放棄地の増加など問題は深刻化しています。本町においては、農業生産基盤の整備や生産技術の向上、持続的な農業の扭り手対策など、これらの課題に対応するための取組みを行っています。</p> <p>食の安全・安心・指向への高まりの中、引き続き環境保全型農業を進めていくとともに、消費者との交流を深めながら、顧の見入る農業や地産地消に取り組んでいなければなりません。また、高齢者や女性グループを中心とした農産物の加工や直売所などで販売も広がりを見せており、本町ならではの特産品開発や6次産業化に期待が寄せられています。</p> <p>森林は、本町の行政区域面積の約7割を占め、木材生産のほか水源涵養等の多面的機能を有しており重要な役割を担っています。そのため、町の森林整備計画に基づき、貴重な財産である自然環境の保全や水資源の涵養などをため森林の整備に努めるほか、都市住民との交流の場、環境学習の場として活用していくなど、総合的な地域林業の振興が求められます。</p>	施策の内容	適正な森林施設の推進と森林病害虫の防除に取組み、優良材の生産による木材利用の促進と水源の涵養などの多面的機能の維持発揮に努めます。 あわせて、交流・教育・健康に着目した新たな森林活用に向けた検討を進めます。			

## 目標指標

指標名	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(令和6年度)	
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	上段:達成率(R6実績/R6目標)	令和6年度	達成率(R6実績/R6目標)
森林整備面積(造林、下刈、除伐、間伐)	ha	150.9	147	147	147	166	-	0.79	166	0.79
		71	111	116	131			-		
森林病害虫防除本数(松くい虫、ナラ枯れ)	本	5,381	1,010	1,020	1,500	1,520	-	1.54	3,950	0.59
		1,087	1,702	2,132	2,344			-		
まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPI	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(令和6年度)	
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	上段:達成率(R6実績/R6目標)	令和6年度	達成率(R6実績/R6目標)
								-	#DIV/0!	
								-	#DIV/0!	
								-	#DIV/0!	
								-	#DIV/0!	

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

構成事務事業の事業費の合計	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度(計画)
	47,272	46,296	76,994	85,505	95,958	108,600

## 取組の総括

1年間の主な取組と成果	「略」
施策の進行管理 (構成事務事業の評価結果をもとにした施策の進捗状況の判定)	[ ]おおむね順調 [ ]いっそうの推進が必要 [ ]抜本的に見直しや改善が必要
今後の取組	「略」

## 構成事務事業の評価結果

事業	9	事業
成果 A	7事業	(77.8%)
B	事業	(0.0%)
C	2事業	(22.2%)
未実施	事業	(0.0%)
コスト A	事業	(0.0%)
B	9事業	(100.0%)
C	事業	(0.0%)
未実施	事業	(0.0%)
進歩率 A	7事業	(77.8%)
B	事業	(0.0%)
C	2事業	(22.2%)
未実施	事業	(0.0%)

平均点は「A」2点、「B」1点、「C」0点として算出

平均点	1.6
平均点	1.0
平均点	1.6
平均点	1.4

次年度以降の方針 (主担当課)	拡充	[説明欄] 適正な森林施設の推進と森林の有する多面的機能の維持、向上を図るために、補助事業を活用しながら継続的に事業に取り組むとともに、施設が必要な適齢に達した森林に対し適切な管理を行うなど計画的に事業を推進する。
委員会評価	現状維持	[委員会意見欄] 拡充予定の事業がないため。

# 施策評価表

令和6年度分

施策コード	6・1・8	評価担当課	農林課	総合戦略	行政経営	過疎
施策名	内水面漁業の振興			-	-	-
目標	農林業の振興(基盤整備や経営指導など)に満足している町民の割合					
現状と課題	<p>本町の農業は、種作と畜産が生産額の大半を占めていますが、近年では新たな柱の一つとして園芸作物(ブロッコリーや小菊など)の振興にも力を入れています。また、本町は年間自給から中山間地域までを有していることから、地域の特性を活かした農業の展開が求められています。</p> <p>現状で抱いています。本町においても県外ではなく、農家数減少、農業従事者の高齢化、後継者不足、耕作放棄地の増加など問題は深刻化しています。本町においては、農業生産基盤の整備や土産技術の向上、将来的な農業の活性化対策など、これらの課題に対応するための取組みを行っています。</p> <p>畜産についても、農家数は減少しておりますが、酪農は、中核の農家の規模拡大が進んでいる一方で、繁殖和牛は小規模農家が多く、飼養頭数は減少傾向となっています。</p> <p>食の安全・安心志向への高まりの中、引き続き環境保全型農業を進めていくとともに、消費者との交流を深めながら、顧の見える農業や地産地消に取り組んでいなければなりません。また、高齢者や女性グループを中心に農産物の加工や直売所などでの販売も広がりを見せており、本町ならではの特産品開発や次世代化に期待が寄せられています。</p> <p>森林は、本町の行政区面積の7割を占め、木材生産のほか水源涵養等の多面的機能を有しており重要な役割を担っています。そのため、町の森林整備計画に基づき、貴重な財産である自然環境の保全や水資源の涵養などのため森林の整備に努めるほか、都市住民との交流の場、環境学習の場として活用していくなど、総合的な地域林業の振興が求められます。</p>				施策の内容	

## 目標指標

指標名	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(令和6年度)	
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	上段:達成率(R6実績/R6目標)	令和6年度	達成率(R6実績/R6目標)
サケの採卵数	万粒	80	100	100	100	100	-	0.12	100	0.12
			0	41	20	12	△	-		
サケ・アユの稚魚放流数	万尾	15	20	20	20	20	-	0.30	20	0.30
			14	19	19	6	△	-		
まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPI	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(令和6年度)	
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	上段:達成率(R6実績/R6目標)	令和6年度	達成率(R6実績/R6目標)
							△	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
							△	-		
							△	#DIV/0!		

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

構成事務事業の事業費の合計	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度(計画)
	300	300	300	300	300	300

## 取組の総括

1年間の主な取組と成果	「略」		
施策の進行管理(構成事務事業の評価結果をもとにした施策の進捗状況の判定)		[ ]おおむね順調 [ ]いっそうの推進が必要 [ ]抜本的に見直しや改善が必要	
今後の取組	「略」		

## 構成事務事業の評価結果

事務事業数	1	事業
成果 A	事業	(0.0%)
	事業	(0.0%)
	1事業	(100.0%)
未実施	事業	(0.0%)
コスト A	1事業	(100.0%)
	事業	(0.0%)
	事業	(0.0%)
未実施	事業	(0.0%)
進捗率 A	事業	(0.0%)
	事業	(0.0%)
	1事業	(100.0%)
未実施	事業	(0.0%)

平均点は「A」2点、「B」1点、「C」0点として算出

次年度以降の方針(主担当課)	現状維持	【説明欄】 河川の災害復旧工事が続いていることから、阿武隈川漁協の活動が制限されている状況であるが、復旧後を見据え水産資源を維持するため、内水面漁業振興事業を継続して実施する。
委員会評価	現状維持	【委員会意見欄】 担当課意見のとおり。

# 施 策 評 価 表

令和6年度分

施策コード	6・1・9	評価担当課	農林課	総合戦略	行政経営	過疎
施策名	6次産業化の推進					
目標	農林業の振興(基盤整備や経営指導など)に満足している町民の割合				施策の内容	
現状と課題	<p>本町の農業は、稻作と畜産が生産額の大半を占めていますが、近年では新たな柱の一つとして園芸作物(ブロッコリーや小菊など)の振興にも力を入れています。また、本町は平野地から中山間地域までを有していることから、地域の特性を活かした農業の展開が求められています。</p> <p>農業を取り巻く情勢は厳しさを増していますが、本町においても例外ではなく、農家数減少、農業従事者の高齢化、後継者不足、耕作放棄地の増加など問題は深刻化しています。本町においては、農業生産基盤の整備や生産技術の向上、将来的な農業の担い手対策など、これらの課題に対応するための取組みを行っています。</p> <p>一方で、農家数は減少してあります。中核的農家の規模拡大が進んでいる一方で、繁殖和牛は小規模農家が多く、飼養頭数は減少傾向になっています。</p> <p>食の安全・安心志向への高まりの中、引き続き環境保全型農業を進めていくとともに、消費者との交流を深めながら、隣の見える農業や地産地消に取り組んでい有必要があります。また、高齢者や女性グループを中心に農産物の加工や直売所などで販売も広がりを見せており、本町ならではの特産品開発や6次産業化に期待が寄せられています。</p> <p>森林は、本町の行政区域面積の7割を占め、木材生産のほか水源涵養等の多面的機能を有しており重要な役割を担っています。そのため、町の森林整備計画に基づき、貴重な財産である自然環境の保全や水資源の涵養などをため森林の整備に努めるほか、都市住民との交流の場、環境学習の場として活用していくなど、総合的な地域林業の振興が求められます。</p>				本町の地形を生かして生産される様々な農林産物等を原料とし、生産者自らが加工・販売まで行う6次産業化を推進し、多角的な農業経営により所得向上を図ります。	

## 目標指標

指標名	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(令和6年度)	
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	上段:達成率(R6実績/R6目標)	令和6年度	達成率(R6実績/R6目標)
6次産業事業主数	名	24	32	33	34	35	-	1.66	35	1.66
			47	52	56	58	△	-		
まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPI	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(令和6年度)	
6次産業事業主数	名	24	32	33	34	35	-	1.66	35	1.66
			47	52	56	58	△	-		

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

構成事務事業の事業費の合計	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度(計画)
	2,179	1,471	1,712	490	4,459	2,964

## 取組の総括

1年間の主な取組と成果	「略」
施策の進行管理 (構成事務事業の評価結果をもとにした施策の進捗状況の判定)	[ ] おおむね順調 [ ] いっそうの推進が必要 [ ] 扱本的に見直しや改善が必要
今後の取組	「略」

## 構成事務事業の評価結果

事業事業数	3	事業	平均点
成果 A	3事業	(100.0%)	
B	事業	(0.0%)	
C	事業	(0.0%)	
未実施	事業	(0.0%)	2.0
コスト A	2事業	(66.7%)	
B	1事業	(33.3%)	
C	事業	(0.0%)	
未実施	事業	(0.0%)	1.7
進捗率 A	3事業	(100.0%)	
B	事業	(0.0%)	
C	事業	(0.0%)	
未実施	事業	(0.0%)	2.0
平均点は「A」2点、「B」1点、「C」0点として算出			
			1.9

次年度以降の方針 (主担当課)	現状維持	【説明欄】 令和7年3月に策定した「丸森町農業振興ビジョン(第二次)」に基づき各種事業を展開し、農産加工に意欲やノウハウを持つ人材の確保に努め、6次産業を推進する。
委員会評価	現状維持	【委員会意見欄】 担当課意見のとおり。

# 施策評価表

令和6年度分

施策コード	6・2・1	評価担当課	商工観光課	総合戦略	行政経営	過疎
施策名	地域に活力をもたらす企業誘致の推進					
目標	地元中小企業の振興に満足している町民の割合				施策の内容 新たな進出企業のニーズに対応できる工場団地の造成など、受け入れ体制を充実させるとともに、異業種間や地域との交流機会を創出して企業の活性化を図ります。	
現状と課題	<p>国道113号沿いの市街地においては小売店舗やコンビニエンスストアの進出がありますが、消費者ニーズの多様化により町内における購買率は年々減少傾向にあります。個人商店では、経営者の高齢化や後継者不足により店の存続が難しく、空き店舗が多くなっています。</p> <p>町中心部の商店街では、町内の若手商業者等が空き店舗を活用して新たなお店をオープンさせるなど、商店街活性化の動きが見られます。</p> <p>日常の買い物の利便性を確保するためには、町、商工会、事業所や、地域住民が一丸となって中心市街地の活性化を行なう必要があります。</p> <p>日本の景気は緩やかな回復傾向にありますが、依然として地域間格差が生じています。本町における企業の多くは中小企業であり、地域経済の活性化や安定した雇用の確保に向けて、経営の安定化や事業拡大、起業者の育成など支援を行う必要があります。</p> <p>本町では製造業を中心とする企業誘致を図り、地元の雇用創出に努めてきました。今後は、地域の特性にあった企業誘致を進めていくことが求められます。</p>					

## 目標指標

指標名	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(令和6年度)		
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	上段:達成率(R6実績/R6目標)	令和6年度	達成率(R6実績/R6目標)	
新工場操業数(27年度からの累計)	工場	2	6	6	6	6	-	1.00	10	0.60	
			4	4	5	6	/\	-			
製造品出荷額	億円	465	470	470	470	470	-	0.83	475	0.82	
			284	284	253	388	/\	-			
従業者数(従業者4人以上の事業所を対象)	人	1,308	1,500	1,500	1,500	1,500	-	0.76	1,500	0.76	
			1,178	1,178	1,120	1,143	/\	-			
まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPI			目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(令和6年度)		
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	上段:達成率(R6実績/R6目標)	令和6年度	達成率(R6実績/R6目標)	
新工場操業数(27年度からの累計)	工場	2	6	6	6	6	-	1.00	10	0.60	
			4	4	5	6	/\	-			
製造品出荷額	億円	465	470	470	470	470	-	0.83	475	0.82	
			284	284	253	388	/\	-			

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

構成事務事業の事業費の合計	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度(計画)
	11,083	824	11,952	10,196	77,176	16,316

## 取組の総括

1年間の主な取組と成果	「略」		
施策の進行管理(構成事務事業の評価結果をもとにした施策の進捗状況の判定)		[ ]おおむね順調 [ ]いっぽうの推進が必要 [ ]抜本的に見直しや改善が必要	
今後の取組	「略」		

## 構成事務事業の評価結果

事務事業数	3	事業	平均点
成果 A	3事業	(100.0%)	
B	事業	(0.0%)	
C	事業	(0.0%)	
未実施	事業	(0.0%)	2.0
コスト A	3事業	(100.0%)	
B	事業	(0.0%)	
C	事業	(0.0%)	
未実施	事業	(0.0%)	2.0
進捗率 A	3事業	(100.0%)	
B	事業	(0.0%)	
C	事業	(0.0%)	
未実施	事業	(0.0%)	平均点

平均点は「A」2点、「B」1点、「C」0点として算出

次年度以降の方針(主担当課)	見直しのうえ継続	【説明欄】 金山工場団地が完成したため、速やかに企業が立地出来るよう誘致活動に積極的に取り組む。
委員会評価	見直しのうえ継続	【委員会意見欄】 担当課意見のとおり。

# 施策評価表

令和6年度分

施策コード	6・2・2	評価担当課	商工観光課	総合戦略	行政経営	過疎
施策名	地域の賑わいを創出する商業の活性化					
目標	地元中小企業の振興に満足している町民の割合				施策の内容 町内の空き店舗の活用や商店街での買い物等の利便性を向上させ、良好で持続的な商業地域の振興を図ります。また、地域の特性を活かした魅力的な商業環境の整備に努めます。	
現状と課題	<p>国道113号沿いの市街地においては小売店舗やコンビニエンスストアの進出がありますが、消費者ニーズの多様化により町内における購買率は年々減少傾向にあります。個人商店では、経営者の高齢化や後継者不足により店の存続が難しく、空き店舗が多くなっています。</p> <p>町中心部の商店街では、町内の若手商業者等が空き店舗を活用して新たなお店をオープンさせるなど、商店街活性化の動きが見られます。</p> <p>日常の買い物の利便性を確保するためには、町、商工会、事業所や、地域住民が一丸となって中心市街地の活性化を行なう必要があります。</p> <p>日本の景気は緩やかな回復傾向にありますが、依然として地域間格差が生じています。本町における企業の多くは中小企業であり、地域経済の活性化や安定した雇用の場の確保に向けて、経営の安定化や事業拡大、起業者の育成など支援を行なう必要があります。</p> <p>本町では製造業を中心とする企業誘致を図り、地元の雇用創出に努めてきました。今後は、地域の特性にあった企業誘致を進めていくことが求められます。</p>					

## 目標指標

指標名	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(令和6年度)	
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	上段:達成率(R6実績/R6目標)	令和6年度	達成率(R6実績/R6目標)
中心市街地活性化拠点施設利用者数	人	80,000	100,000	110,000	115,000	115,000	-	0.91	100,000	1.05
			107,340	110,286	112,812	105,056	△	-		
まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPI	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(令和6年度)	
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	上段:達成率(R6実績/R6目標)	令和6年度	達成率(R6実績/R6目標)
中心市街地活性化拠点施設利用者数	人	80,000	100,000	110,000	115,000	115,000	-	0.91	120,000	0.88
			107,340	110,286	112,812	105,056	△	-		

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

構成事務事業の事業費の合計	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度(計画)
	1,072	5,542	6,492	4,787	99,087	275,269

## 取組の総括

1年間の主な取組と成果	「略」		
施策の進行管理 (構成事務事業の評価結果をもとにした施策の進捗状況の判定)	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね順調 <input checked="" type="checkbox"/> いっそうの推進が必要 <input checked="" type="checkbox"/> 抜本的に見直しや改善が必要		
今後の取組	「略」		

## 構成事務事業の評価結果

事業	3事業	事業
成果 A	3事業	(100.0%)
B	事業	(0.0%)
C	事業	(0.0%)
未実施	事業	(0.0%)
事業	3事業	事業
コスト A	3事業	(100.0%)
B	事業	(0.0%)
C	事業	(0.0%)
未実施	事業	(0.0%)
事業	3事業	事業
進捗率 A	3事業	(100.0%)
B	事業	(0.0%)
C	事業	(0.0%)
未実施	事業	(0.0%)
平均点は「A」2点、「B」1点、「C」0点として算出	2.0	平均点

次年度以降の方針 (主担当課)	拡充	【説明欄】各事業による成果が表れているので事業を継続しつつ、中心市街地活性化拠点施設の再整備事業に着手し、更なる商業の振興を図る。
委員会評価	拡充	【委員会意見欄】担当課意見のとおり。

# 施 策 評 価 表

令和6年度分

施策コード	6・2・3	施策名	地域企業を支える支援体制の充実	評価担当課	商工観光課	総合戦略	行政経営	過疎
目標	地元中小企業の振興に満足している町民の割合							
現状と課題	<p>国道113号沿いの市街地においては小売店舗やコンビニエンスストアの進出がありますが、消費者ニーズの多様化により町内における購買率は年々減少傾向にあります。個人商店では、経営者の高齢化や後継者不足により店の存続が難しく、空き店舗が多くなっています。</p> <p>町中心部の商店街では、町内の若手商業者等が空き店舗を活用して新たなお店をオープンさせるなど、商店街活性化の動きが見られます。</p> <p>日常の買い物の利便性を確保するためには、町、商工会、事業所や、地域住民が一丸となって中心市街地の活性化を行なう必要があります。</p> <p>日本の景気は緩やかな回復傾向にありますが、依然として地域間格差が生じています。本町における企業の多くは中小企業であり、地域経済の活性化や安定した雇用の場の確保に向けて、経営の安定化や事業拡大、起業者の育成など支援を行なう必要があります。</p> <p>本町では製造業を中心とする企業誘致を取り、地元の雇用創出に努めてきました。今後は、地域の特性にあつた企業誘致を進めたいことが求められます。</p>	施策の内容	町内の中小企業等の経営に必要な資金の融資を円滑にするとともに、併せて商工会への支援体制を強化し、町内商工業の活性化を図ります。また、中小企業向けに次世代の人材を育成するための支援を充実します。					

目標指標

指標名	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(令和6年度)		
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	上段・達成率(R6実績/R6目標)	令和6年度	達成率(R6実績/R6目標)	
町内商工業者数	事業所	508	514	514	514	514	-	0.88	518	0.87	
			450	450	450	450	450	-			
町商工会会員数	人	351	356	356	356	356	-	0.91	361	0.90	
			316	324	324	324	324	-			
起業支援者数	人	-	30	30	30	30	-	1.17	30	1.17	
			39	29	32	35	35	-			
起業者数	人	-	6	6	6	6	-	1.17	6	1.17	
			0	4	3	7	7	-			
まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPI			目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(令和6年度)		
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	上段・達成率(R6実績/R6目標)	令和6年度	達成率(R6実績/R6目標)	
町内商工業者数	事業所	508	514	514	514	514	-	0.88	523	0.86	
			450	450	450	450	450	-			
町商工会会員数	人	351	356	356	356	356	-	0.89	361	0.88	
			316	324	324	317	317	-			

構成事務事業の事業費合計(単位千円)

構成事務事業の事業費の合計	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度(計画)
	277,795	278,705	137,463	115,312	186,690	121,373

取組の総括

1年間の主な取組と成果	「略」	
施策の進行管理 (構成事務事業の評価結果をもとにした施策の進捗状況の判定)		【 】おおむね順調 【 】いっそうの推進が必要 【 】抜本的に見直しや改善が必要
今後の取組	「略」	

## 構成事務事業の評価結果

事務事業数	8	事業	
成果 A	6事業	(75.0%)	
B	事業	(0.0%)	平均点
C	2事業	(25.0%)	1.5
未実施	事業	(0.0%)	
コスト A	3事業	(37.5%)	
B	5事業	(62.5%)	平均点
C	事業	(0.0%)	1.4
未実施	事業	(0.0%)	
進捗率 A	6事業	(75.0%)	
B	事業	(0.0%)	平均点
C	2事業	(25.0%)	1.5
未実施	事業	(0.0%)	平均点

平均点は「A」2点、「B」1点、「C」0点として算出

次年度以降の方針 (主担当課)	現状維持	【説明欄】 成果が表れつつあるので、現状を維持し各事業を継続する。
委員会評価	現状維持	【委員会意見欄】 担当課意見のとおり。

# 施策評価表

令和6年度分

施策コード	6・2・4	評価担当課	商工観光課	総合戦略	行政経営	過疎
施策名	働きやすい労働環境の形成			-	-	
目標	地元中小企業の振興に満足している町民の割合					
現状と課題	国道113号沿いの市街地においては小売店舗やコンビニエンスストアの進出がありますが、消費者ニーズの多様化により町内における購買率は年々減少傾向にあります。個人商店では、経営者の高齢化や後継者不足により店の存続が難しく、空き店舗が多くなっています。 町中心部の商店街では、町内の若手商業者等が空き店舗を活用して新たなお店をオープンさせるなど、商店街活性化の動きが見られます。 日常の買い物の利便性を確保するためには、町、商工会、事業所や、地域住民が一丸となって中心市街地の活性化を行なう必要があります。 日本の景気は緩やかな回復傾向にありますが、依然として地域間格差が生じています。本町における企業の多くは中小企業であり、地域経済の活性化や安定した雇用の場の確保に向けて、経営の安定化や事業拡大、起業者の育成など支援を行う必要があります。 本町では製造業を中心とする企業誘致を図り、地元の雇用創出に努めてきました。今後は、地域の特性にあった企業誘致を進めていくことが求められます。				施策の内容	ハローワークをはじめとした関係機関との連携により、雇用情報の提供や企業に対する雇用促進を働きかけるとともに、資金融資の円滑化により労働者の生活安定を図ります。

## 目標指標

指標名	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(令和6年度)	
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	上段:達成率(R6実績/R6目標)	令和6年度	達成率(R6実績/R6目標)
商工会会員事業所永年勤続優良従業員	名	6	5	5	5	5	-	1.00	8	0.63
			6	5	0	5	△	-		
町の人口に占める生産年齢人口の割合	%	53.0	55.0	55.0	55.0	55.0	-	0.80	55.0	0.80
			48.0	48.0	47.0	44.0	△	-		
まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPI	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(令和6年度)	
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	上段:達成率(R6実績/R6目標)	令和6年度	達成率(R6実績/R6目標)
							△	-	#DIV/0!	#DIV/0!
							△	-	#DIV/0!	

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

構成事務事業の事業費の合計	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度(計画)
	16,470	60,575	95,103	33,689	8,986	8,562

取組の総括

1年間の主な取組と成果	「略」			
施策の進行管理 (構成事務事業の評価結果をもとにした施策の進捗状況の判定)		<input type="checkbox"/> おおむね順調 <input type="checkbox"/> いっそうの推進が必要 <input type="checkbox"/> 抜本的に見直しや改善が必要		
今後の取組	「略」			

構成事務事業の評価結果

事務事業数	4	事業
成果 A	3事業	(75.0%)
B	1事業	(25.0%)
C	事業	(0.0%)
未実施	事業	(0.0%)
	事業	(0.0%)
	事業	(0.0%)
コスト A	2事業	(50.0%)
	2事業	(50.0%)
	事業	(0.0%)
未実施	事業	(0.0%)
	事業	(0.0%)
	事業	(0.0%)
進捗率 A	4事業	(100.0%)
	事業	(0.0%)
	事業	(0.0%)
未実施	事業	(0.0%)
	事業	(0.0%)
	事業	(0.0%)

平均点は「A」2点、「B」1点、「C」0点として算出

1.8

平均点

1.5

平均点

2.0

平均点

次年度以降の方針 (主担当課)	見直しのうえ継続	【説明欄】 事業内容を見直しながら各種事業を継続するとともに、引き続き物価等を注視しながら、必要に応じて支援等を実施する。
委員会評価	見直しのうえ継続	【委員会意見欄】 担当課意見のとおり。